

大局的な視点から

この通信は、不定期ですが、
月2回ほど発行します。

先日、全校集会で「桃太郎」の話をしました。ただし、鬼ヶ島で悪い鬼を成敗するという一般的な話ではなく、「その後の桃太郎」というお話です。詳細は、お子さんからお聞きください。

ところで、桃太郎のお供をした動物はどうして犬・猿・雉なのでしょう。これには諸説あるようです。広く知られているのは、古代中国の思想に基づく「方位」との関係です。

一方で、昔話に込められた教えからすると、

「忠実・誠実」の象徴としての犬

「奇想天外・豊かな発想」の象徴としての猿

「広く物事を見ること」の象徴としての雉

が充てられたという説もあります。今年は酉年なので、ここでは「雉」に込められた教えを取り上げてみます。

雉を含む鳥の仲間は、その大半が大空を優雅に舞い、空の上から地上を眺めています。地上で暮らす動物よりも広範囲を見ることができるという点では、何ともうらやましい限りです。重要な決断を迫られたりしたときには、鳥のように広い視野をもつことがとても大事であるということが「桃太郎」の中には含まれているようです。

私たちの日々の生活に目を向けてみると、つい目の前の出来事だけに気をとられがちです。特に、子育てに関しては、子どもの成長とともにその行動が親の思いから離れていくことも多々あります。親として、その場、その時の適切な関わりはとても大切ですが、一方で過渡期にある子どもが、今どの段階まで成長してきたのかという視点で見届けることも必要です。

ただ、一つの価値観だけで子どもを育てるのは、豊かな人間性を育むと言う点で得策とは言えません。学校はもちろんですが、周りにいる大人が、その豊かな経験から子どもを導くことが重要です。

日向商工会議所の壁面には「日向の大人はみな子供達の先生」という合い言葉が掲げられており、日向市全体で子どもを育てようとキャリア教育を進めています。

失敗談、成功体験、生きがい等々、我が子にも近所の子どもにも語っていただけるとありがたいと思います。子どもは、その中から自然と取捨選択していきます。10年先、20年先を思い描きながら子どもに語りかける大人が、この平岩地区にもっと増えるといいなと考える今日、この頃です。



気がかり・・・

来校者や地域の方々から、平岩小中学校の子どもを褒めていただく機会がたくさんあります。あいさつのこと、掃除の取組、各種作品展など、多岐にわたります。

子どもの頑張りが認められることは、とてもうれしく、誇りに思います。

一方で、最近校内で気になることがあります。いわゆる「不要物」の持ち込みです。現に指導した事例もいくつかありますが、小学部高学年と中学部のアンケート調査ではその何倍もの申告がありました。

ルールを軽んじる姿勢を見過ごすことはできません。また、学習意欲の低下や集団行動への影響なども懸念されます。

今回は個別の指導を中心に進めていますが、校長が必要と判断した場合には、持ち物検査の実施も検討したいと考えています。

また、これまで学校が気づかなかった点は謙虚に反省し、子どもたちの「心の育成」の在り方を改善したいと思います。保護者の皆様も、お気づきのことがあればお知らせください。

新入児保護者説明会

今月14日（火）に平成29年度の新入児保護者説明会を実施しました。人数は確定していませんが、20数名の新1年生が入学予定です。

初めてお子さんを学校に預けるという方も多数おられました。この便りを読まれている保護者の皆さんは「先輩」となります。

校長自身もそうでしたが、初めての入学は保護者も緊張し、不安も大きいものです。機会がありましたら、すでに余裕がもてるようになった「先輩」からアドバイスしていただけると助かります。

説明会に先立ち、現1年生が歌や合奏、ゲームなどで新入児をもてなしました。会の進行も子どもたちが行い、後輩となる幼児さんたちを楽しませてくれました。毎日見てきたつもりですが、彼らの見事な成長ぶりに、感激したところですよ。

「先輩保護者」の皆様、ぜひ「初々しい保護者」の相談相手になってあげてください。

ちなみに、校長は若い保護者の多さに戸惑い、ジェネレーションギャップを強く感じています。

